

科目区分	教養科目	授業科目名	平和学				科目コード	26A007	担当者	山口 響			担当形態	単独
対象学科・コース	全学科	配当年次	2年次	開講学期	春学期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件				
授業形態	講義	履修条件							教育職員免許法 施行規則に 定める 科目区分等	科目区分				
実務の経験を有する教員担当科目		実務の経験内容及び 科目との関連								科目に含める ことが必要な 事項				

授業の主題	学校生活や、食べ物／子ども／医療・福祉／観光など本学の学生が学ぼうとしている身近なことを題材にし ながら、平和とは何か、平和を脅かすものは何か、平和をどうやったら生み出すことができるかを考える。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	授業の最後の10分で必ず「振り返りレポート」を記入・提出してもらい、次の時間の冒頭での「授 業通信」の配布や口頭を通じて、学生らの疑問に答える。□
授業の方法	配布資料、パワーポイント、板書などを利用した講義形式を基本とするが、 学生にも積極的にグループワ ークなどに参加してもらう。	アクティブ・ラーニングの 実施方法	・ペアワーク、グループワークなどを実施する こともある(受講人数による) 。 ・各授業時に「振り返りレポート」を記入する。

回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	はじめに——鶴鳴女学校生たちの原爆被害	「若い女性が被爆するということ」について的小レポートをまとめる（事後）。	
第2回	誰が、どうして核兵器を必要としているのか？	核兵器に関する小テストに答える（事後）。	
第3回	観光と平和——原爆後・戦後の長崎の観光	「平和を絡めた長崎観光」に関する小レポートを完成させる（事後）。	
第4回	食べ物と平和——飢える人びと	食料問題の解決に関する小レポートをまとめる（事後）。	
第5回	食品公害と薬害——カネミ油症を中心に	カネミ油症被害者の体験についての指定文章を読んでおく（事前）。	
第6回	戦争のなかの子どもたち	「戦争と子ども」をテーマとした指定文章を読んでおく（事前）。	
第7回	医療・福祉従事者と戦争	戦争に従事した医療・福祉従事者の体験についての指定文章を読んでおく（事前）。	
第8回	ジェンダーと平和	ジェンダーと平和（女性と平和の関わり）についての指定文章を読んでおく（事前）。 これとは別に、講義全体に関連した最終レポートを課す。	
		事前・事後 学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 [書名/著者 名/出版社]	指定なし	受講生への メッセージ	皆さんが職業人になってからやろうとしていることは、平和という基礎がないとできないことだ し、逆に、人と人との間に平和を作り出す行為でもあります。この講義を通じて、自分と社会とが どうつながっているかを深くとらえていきましょう。
参考書 [書名/著者 名/出版社]	長崎原爆の戦後史をのこす会編『原爆後の75年——長崎の記憶と記録をたどる』、2021年。その他は各回ごとに指定 する。		

